

# コンセッションによる変革

2026年3月23日

関西エアポート株式会社

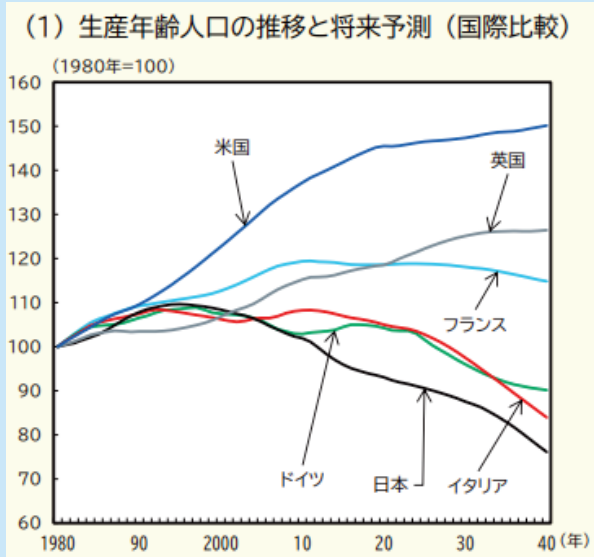
代表取締役社長 CEO

山谷 佳之



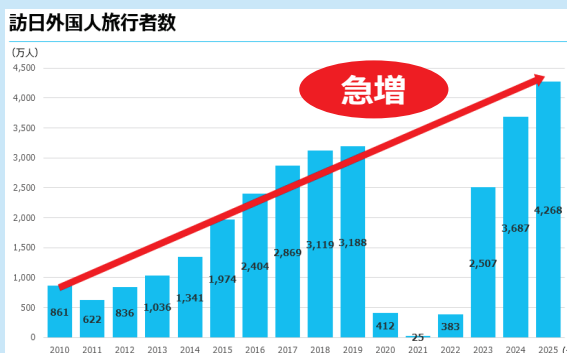
# 日本産業の現状と主要課題

## 人口減少と労働不足



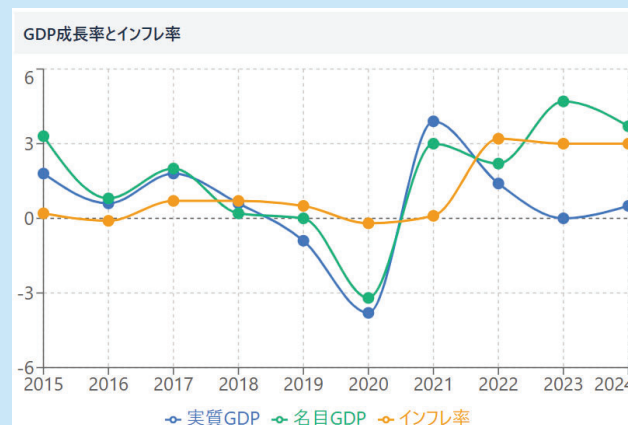
- 生産年齢人口の減少が顕著
- 高齢化による労働供給制約の強まり

## 生産性の低迷



- サービス産業の労働生産性は伸び悩み
- インバウンドの急増がサービス産業を下支え

## 物価上昇



関西エアポートの取り組み

オペレーション変革

# 変革① T1リノベーション / 国際線チェックインカウンター



## 変革の方向性

集約化

コモン化

セルフ化



### Passenger Experience

- ✓ ファストトラベル
- ✓ 混雑緩和、快適性向上



### Staff Workload

- ✓ カウンタースタッフの削減
- ✓ コモンサポート



### Capacity

- ✓ リソースの有効活用
- ✓ 有人カウンターの削減



# 変革① T1リノベーション / 国際線保安検査場

## 保安検査場の集約・拡張

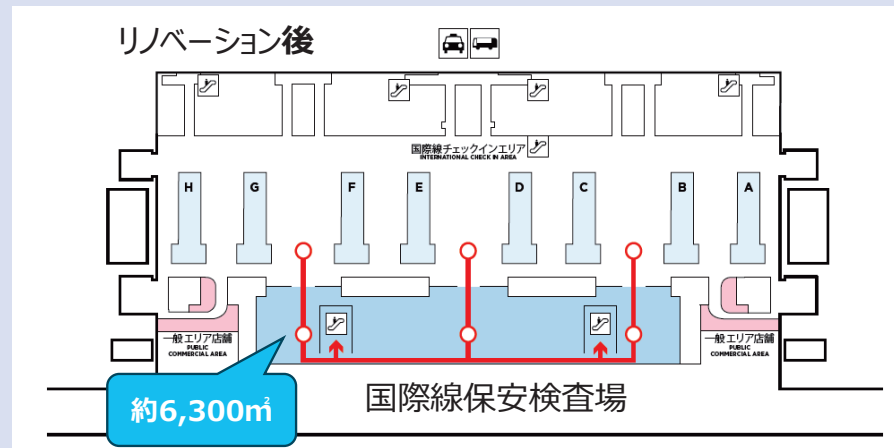
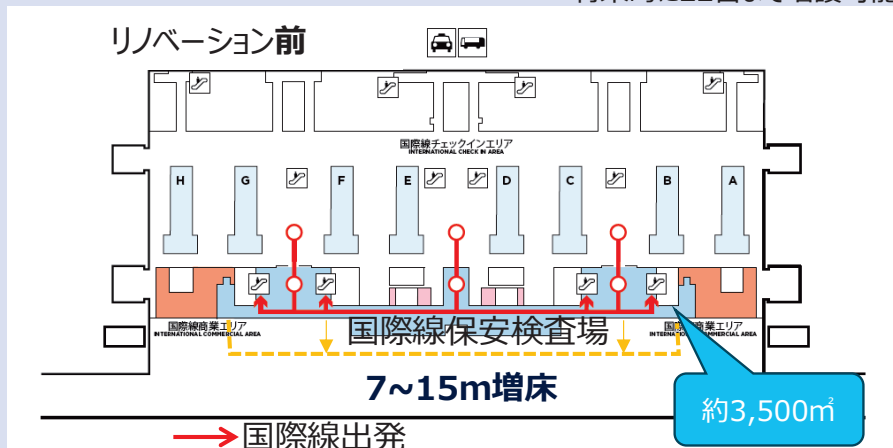
- ✓ 3つのエリアを一体化し、増床
- ✓ 長いスマートレーンを導入し旅客の取扱能力を増強  
(約4,500人/時 → 約6,000人/時)

	リノベーション前	リノベーション後
国際線 レーン数	16	18台*
長さ(m)	15	20m×10 15m×8

\*将来的に22台まで増設可能





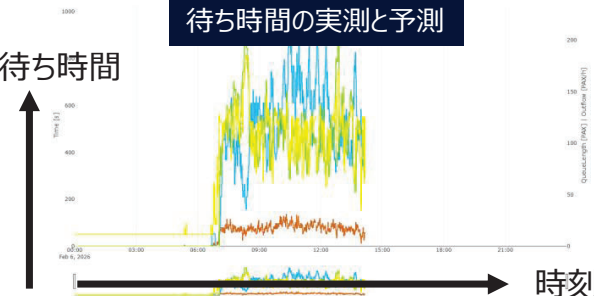

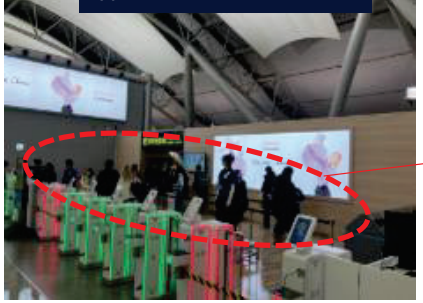
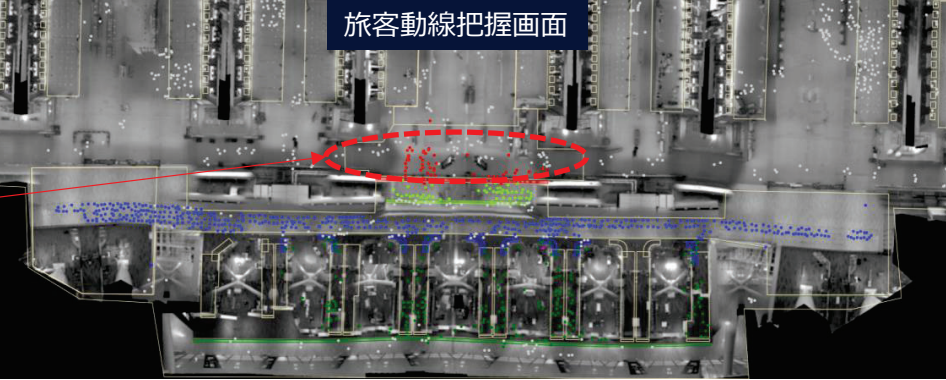

ロングスマートレーン



# 変革② PFM

## PFMとは？

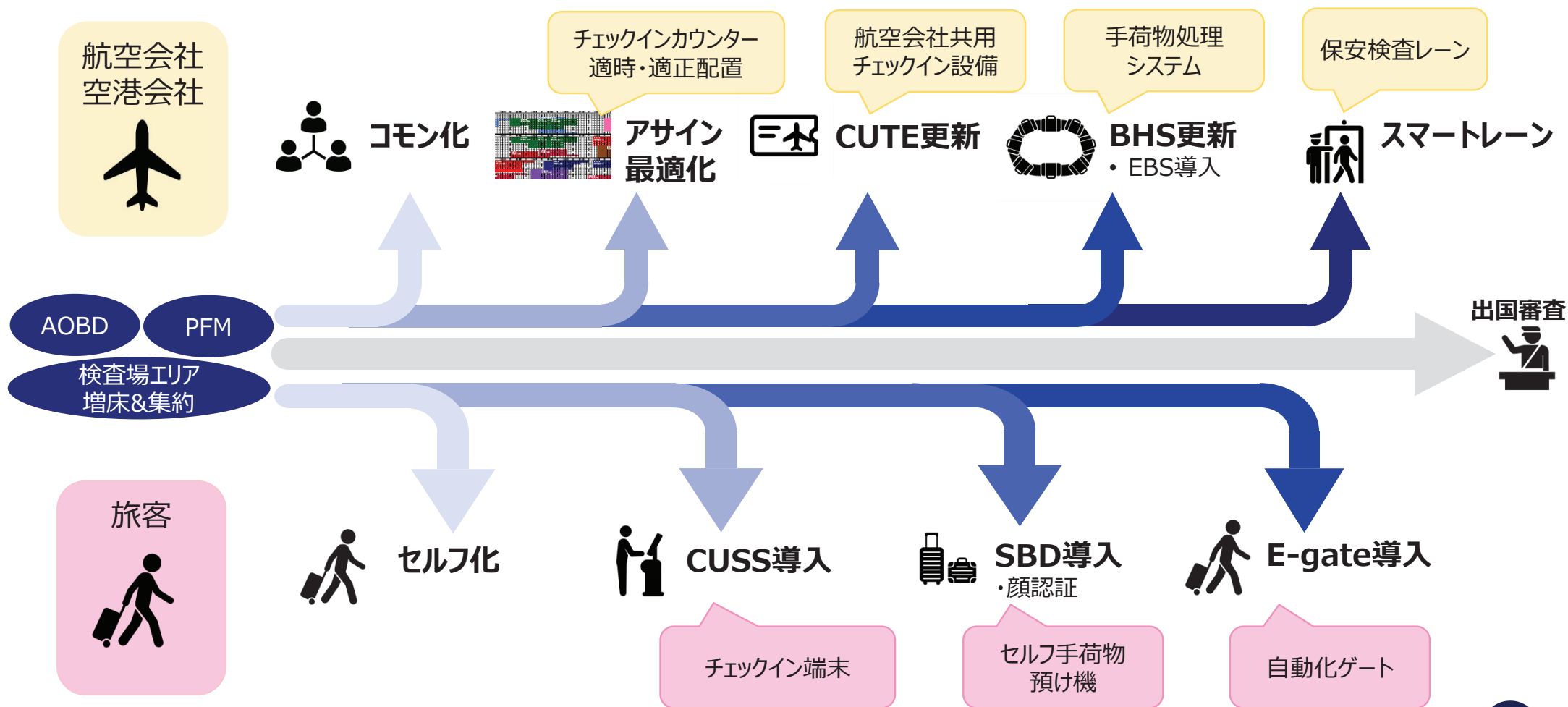
旅客待ち列を可視化し、混雑緩和や待ち時間を計測する旅客動線管理システム（Passenger Flow Management）

<p>計測センサー</p> 	<p>計測センサー</p> 	<p>待ち時間の実測と予測</p> 	<p>Dashboard</p> 
<p>保安検査場前 待ち列</p> 	<p>旅客動線把握画面</p> 	<p>待ち時間の表示</p> 	

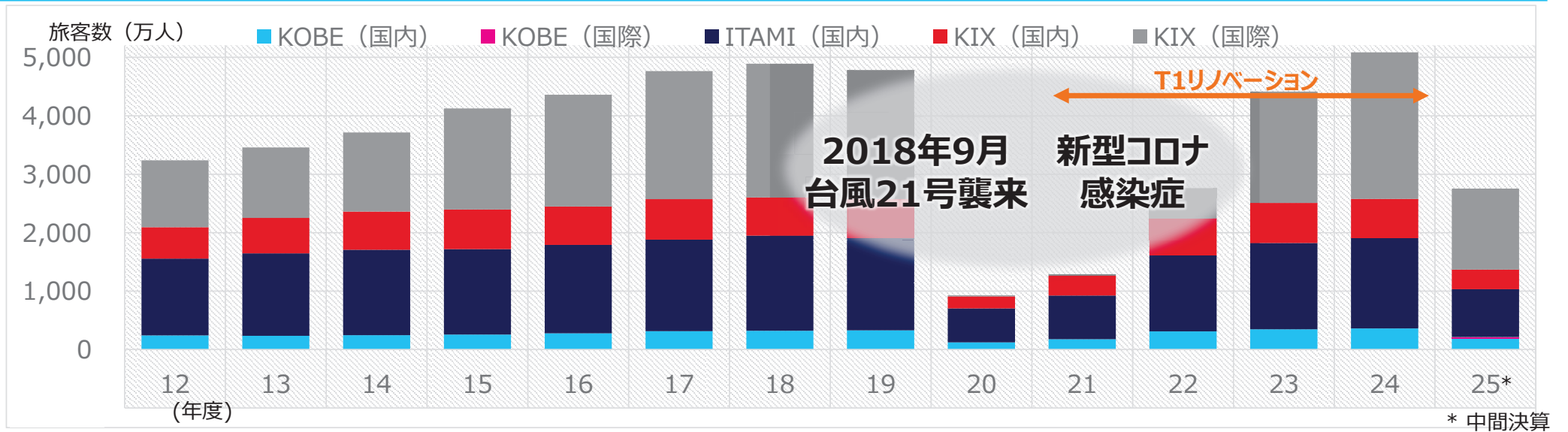
- ✓ 旅客動線を把握
- ✓ 旅客数、通過時間及び旅客の動向を計測し、待ち時間を測定
- ✓ 上記をリアルタイムで監視



# オペレーションの変革



# 変革の効果



## T1国際線保安検査場/Throughput

	待ち時間	Throughput (レーン1台あたり)
2016 ノーマルレーン	慢性的に1.5時間~2時間発生	180人/時
2018 スマートレーン15m		250人/時
2024 スマートレーン20m	10分以内99%,5分以内85%	400人/時



慢性的に1.5時間以上の待ち列



混雑時も約10分以内

# 最後に

---

## 【コンセッションによる変革】

- ・ 日本産業が抱える課題への挑戦
  - > オペレーション変革
- ・ 効率的なオペレーションの実現
- ・ リソース・資産のフル活用モデルの追求

## 【民間から見たコンセッション】

- ・ 魅力あるコンセッション市場の形成と参入
  - しやすい制度設計に期待
  - > 規模・成長性の大きい案件の創出
  - > 民間ガバナンス・メカニズムの理解と徹底

---

以上